

# ふるさと 通信員だより

vol.182



私が町内の身近な  
話題を紹介します♪

たかだ てつこ  
高田徹子通信員

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています(活動はボランティアでお願いしています)。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係(内線216)にご連絡ください。



## ラジオ体操が 地域のつながりに

町が社会福祉協議会に受託している生活支援体制整備事業の一環として、町民有志が企画したイベント「おはよう広場」(芳賀信代表)が、ラジオ体操の普及・啓発に取り組んでいます。朝6時30分にエプロン姿の主婦や家族連れ、夏休みの児童たちなど70人ほどが、「おはよう」「おはようございます」とあいさつを交わり、総合福祉センター前に集まります。その後、ラジオ体操の歌から始まり第1、第2の体操で爽やかな汗を流します。日を重ねるたびにお互い会話も弾み、「また明日ね」と笑顔で声を掛け合うラジオ体操の場は、地域の絆やつながりの場として一役買っていると感じました。



## 木のぬくもりある園舎

町内では2カ所目となる企業主導型保育事業所、きたのこぐま保育園(井川美幸園長)の完成内覧会が開催されました。同園舎は2階建てで、延べ床面積387.94平方メートル。定員は32人。遊具や壁、床材などにはヒノキなどの木材を多く使用しています。木のぬくもりに包まれた室内は、園児たちが落ち着いて遊んでいるところを見通せる空間などを大切にしたい造りとなっています。井川園長は、「かけがえのない幼児期、小さな集団でしっかり愛情をかけてあげたい」と抱負を話してくれました。